【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和7年1月7日(2025.1.7)

【国際公開番号】WO2024/161444
【出願番号】特願2023-526616(P2023-526616)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｋ　5/04(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｋ　5/04　　Ｅ
Ｆ１６Ｋ　5/04　　Ｇ

【手続補正書】
【提出日】令和5年5月8日(2023.5.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
開口部を有する弁箱と、
前記弁箱内に収容された弁板ユニットと、
前記弁板ユニットを駆動する駆動機構と、を備え、
前記弁板ユニットは、
前記開口部を開閉する弁板と、
前記駆動機構により回転し、前記弁板を開位置又は閉位置に回転移動させる回転板と、
前記回転板の回転に従動し、内部のカム機構により前記弁板を前記開口部に密着又は離間する方向にスライド移動させるスライド板と、から構成され、
前記弁箱は、対向する第一開口部及び第二開口部を有し、
前記弁板ユニットは、
前記第一開口部を開閉する第一弁板と、
前記第二開口部を開閉する第二弁板と、
前記駆動機構により回転し、前記第一弁板及び前記第二弁板を開位置又は閉位置に回転移動させる回転板と、
前記回転板の回転に従動し、内部のカム機構により前記第一弁板又は前記第二弁板を前記第一開口部又は前記第二開口部に密着又は離間する方向にスライド移動させるスライド板と、から構成され、
前記第一開口部及び前記第二開口部を選択的に開閉することを特徴とする回転駆動式ゲートバルブ。
【請求項２】
前記弁板のシール面にパッキンが嵌め込まれており、当該パッキンを嵌め込むシール溝が、平面とこれに滑らかに繋がった曲面とに対して形成され、逆Ω形状のように入口付近が括れ、奥がその入口付近の括れより広い円形の断面形状に形成されていることを特徴とする請求項１に記載の回転駆動式ゲートバルブ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０００６】
前記の目的を達成するため、本発明の回転駆動式ゲートバルブは、開口部を有する弁箱と、前記弁箱内に収容された弁板ユニットと、前記弁板ユニットを駆動する駆動機構と、を備え、前記弁板ユニットは、前記開口部を開閉する弁板と、前記駆動機構により回転し、前記弁板を開位置又は閉位置に回転移動させる回転板と、前記回転板の回転に従動し、内部のカム機構により前記弁板を前記開口部に密着又は離間する方向にスライド移動させるスライド板と、から構成され、前記弁箱は、対向する第一開口部及び第二開口部を有し、前記弁板ユニットは、前記第一開口部を開閉する第一弁板と、前記第二開口部を開閉する第二弁板と、前記駆動機構により回転し、前記第一弁板及び前記第二弁板を開位置又は閉位置に回転移動させる回転板と、前記回転板の回転に従動し、内部のカム機構により前記第一弁板又は前記第二弁板を前記第一開口部又は前記第二開口部に密着又は離間する方向にスライド移動させるスライド板と、から構成され、前記第一開口部及び前記第二開口部を選択的に開閉することを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】削除
【補正の内容】